

# 市の財政状況をお知らせします

## 財政の健全化が緊急課題

市民一人当たりに使われた額  
34万1,389円

H20.4.1 現在人口 39,978人



**■ 歳入**  
歳入全体では、前年度と比べて7億6,371万円(5・1%)の減少となっています。市民の皆さんに納めていただいた市税は、2億3,402万円(5・3%)の増収となっており、なかでも税源移譲に伴い、個人市民税が3億8,435万円(31・7%)の増収となっています。

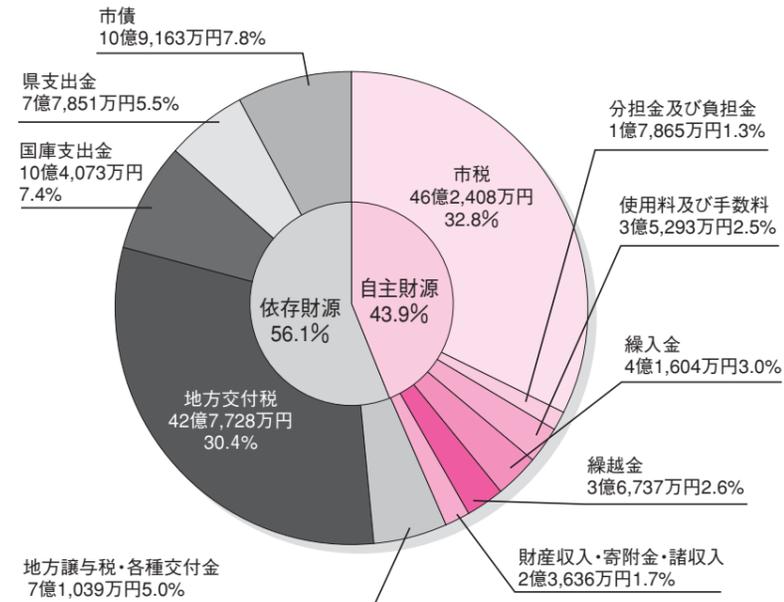
国から標準的な行政水準を保つために交付される地方交付税は、交付総額の圧縮により2億6,022万円(5・7%)の減少となっています。国において地方交付税は引き続き抑制傾向にあり、今後も財政運営に大きな影響を及ぼすと考えています。また、市債は、公債費負担適正化計画に沿って、投資的事業の計画を見直すことで発行総額を大きく抑制

**■ 歳出**  
歳出決算額を仕事内容により目的別に分類したものが前ページ下の円グラフです。

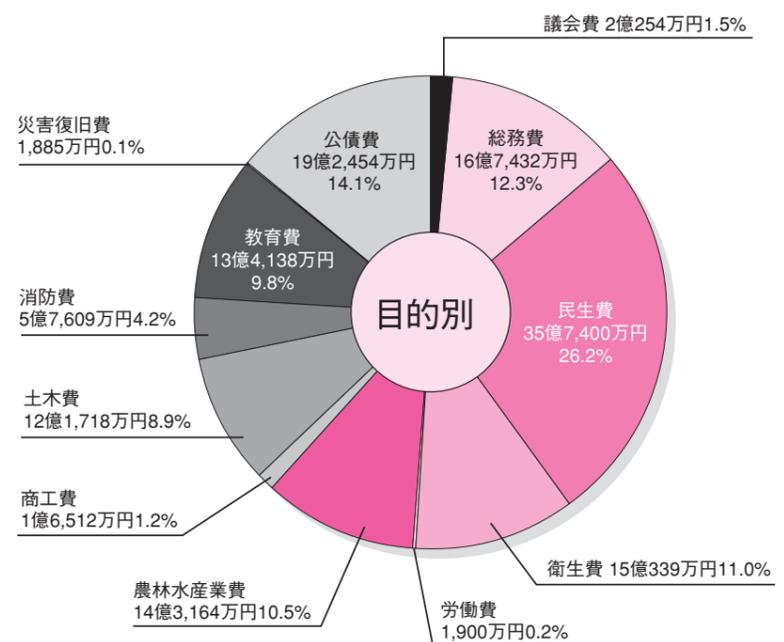
したため、9億8,378万円(47・4%)の減少となっています。そのほか主なものに国庫支出金・県支出金などがあり、前ページ上の円グラフはこれらのあらましを示したものです。

歳出全体では、前年度と比べて8億2,226万円(5・7%)の減少となっています。福祉のための経費である民生費が全体の26・2%と最も多く、次いで市債の返済経費である公債費が14・1%、地域振興や庁舎管理などに使われる総務費が12・3%、ごみ処理や健康づくり対策などの経費である衛生費が11・0%などとなっています。

歳入140億7,397万円



歳出136億4,805万円



平成19年度の普通会計の決算額は、歳入が140億7,397万円に対し、歳出が136億4,805万円です。平成20年度へ繰り越した事業の財源を差し引いた3億8,722

万円が実質的な黒字となりました。しかしながら、臨時財政対策債や各種建設事業の財源など借金である市債を10億9,163万円借り入れてあります。

また、地方交付税の減額などを補うため、市の貯金である財政調整基金を3億5,923万円取り崩すなど、財政状況は引き続き厳しい状況にあります。

平成19年度の会計別決算

		(単位 万円)		
		歳入	歳出	差引
一般会計		1,405,147	1,362,568	42,579
特別会計	国民健康保険	405,634	402,498	3,136
	裳掛診療所	3,439	3,410	29
	美和診療所	2,097	2,077	20
	介護保険	303,441	289,445	13,996
	老人保健	462,062	467,573	△5,511
	住宅新築資金等貸付事業	2,450	2,438	12
	農業集落排水事業	114,291	114,175	116
	漁業集落排水事業	3,836	3,781	55
	下水道事業	440,469	429,747	10,722
	土地開発事業	5,157	1,366	3,791
事業会計	公共用地先行取得事業	529	529	0
	病院事業	124,863	136,635	△11,772
	水道事業	96,230	84,351	11,879

※事業会計については収益的収入及び収益的支出を計上